

※研修のご案内（チラシ）は、2枚目に掲載しています

研修申込みされる皆様へ

大阪府社会福祉協議会
大阪福祉人材支援センター 研修グループ

研修にお申込みされるにあたってのお願い

大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修グループでは、新型コロナウイルス感染予防のため、研修を受講される皆様および講師ならびに職員の安全を第一に考え、下記の対策を講じております。何卒ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

■新型コロナウイルス感染防止のための10の対策

- ①受講者定員を縮小し、受講者間の距離を確保します。
- ②受講者・講師・スタッフともに、マスクの着用を必須とします。
（※場合によって、フェイスシールドまたは、透明ビニールカーテンを設置）
- ③会場入口に消毒液を設置いたします。
- ④休憩時等、定期的な換気を行います。
- ⑤手が触れる箇所を中心に、会場内を定期的に消毒します。
- ⑥事務局スタッフの毎日の体調チェック、手指の消毒を徹底します。
- ⑦講師の当日の体調チェックを行います。
- ⑧研修備品等の共有はしません。（マイクで発表する場合は、その都度消毒します。）
- ⑨喫煙室は、使用禁止とさせていただきます。
- ⑩ゴミはお持ち帰りいただきます。

■参加者の皆様へのお願い

身体的距離の確保

- ・会場では他の受講生との距離を空けていただきますようお願いいたします。

マスクの着用

- ・研修参加の際には必ずマスクの着用をお願いします。マスクはご持参ください。

消毒液のご利用

- ・咳エチケットの実施や手洗いやうがい、手指消毒の徹底にご協力をお願いします。
会場入口に、消毒液をご用意しています。

日々の健康チェック

- ・検温など体調管理のご協力をお願いいたします。
- ・発熱、咳などの症状がある場合は、体調を最優先していただき、ご受講をお控えいただきますようお願いいたします。（熱が37.5℃以上の場合は、ご受講いただけません）
- ・研修当日、体温チェックさせていただく場合があります。
- ・研修中に体調が悪くなられた場合、すぐに事務局までお申し出ください。

<座席について>

- ・座席は、1テーブル1～2人とし、受講者同士一定の間隔をとります。
研修によっては、演習を実施します。その場合も、受講者同士の距離を確保したうえでグループ化し、マスクの着用、または、フェイスシールドを使用する場合があります。
- ・演習は、中止、または一部簡略化して実施する場合がありますことを予めご理解ください。

<参加費について>

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で研修が急遽中止となる可能性があるため、参加費は一部研修を除き当日現金にてお支払いいただきます。
- ・受付では感染防止に努めた対応をいたします。当日は釣銭のないようご協力をお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響で、研修を中止させていただく場合もございます。
中止または延期させて頂く場合は、速やかにご連絡させていただきます。

令和3年度 児童施設課程〈基礎コースII〉 開催

施設職員として、チームケアの視点からどのような役割を担い実践に結びつけていくかを考えます。また、職員のキャリアについて考え、多面的な視点を通して自分自身のステップアップを図る機会とします。

【日程】 本研修:令和3年9月22日(水)10:00~16:30

【会場】 大阪社会福祉指導センター4階研修室1

【人権研修】(必須)11/1~11/17の間に動画視聴(90分×2本)

視聴後、レポート提出

※新型コロナウイルスの影響により、研修が中止になる可能性があることを予めご了承ください

時間	内容	講師
10:00 ~ 12:30	「児童福祉施設におけるチーム/組織について~チームの中の私の役割を考える~」 ・チーム力の向上、支援の向上、組織の強化について考える	大阪総合保育大学児童保育学部 講師 藪 一裕 氏
13:30 ~ 16:30	「児童福祉施設職員のキャリアについて考える」 ・児童福祉施設の現状/やりがいとストレス ・自分自身を振り返り、今後の目標設定とチャレンジ意欲につなげる。	立命館大学 産業社会学部 准教授 石田 賀奈子 氏

★勤務経験3~5年目の児童福祉施設職員対象(定員30名程度)

※本研修及び人権研修を受講された方には修了証書を発行いたします。

参加費

5,000円

※当日お支払いください
(釣銭の無いように
ご用意ください)

申込締切:8月19日(木)

※受講の可否については
締め切り後1週間以内にメールで通知

★研修グループホームページより
お申込みください★

[申込はこちらをクリック](#)

社会福祉法人大阪府社会福祉協議会
大阪福祉人材支援センター研修グループ



TEL:06-6762-9035
【担当:小林・藤嶋】

令和3年度施設階層別研修における人権研修 オンデマンド研修(動画視聴型)

社会福祉サービスの基本理念として「尊厳の保持」や「良質かつ適切なサービスの提供」の原則が社会福祉法に規定されております。このため、その人らしい暮らしを当たり前前に送ることができるための支援、地域づくりが福祉関係者に求められています。社会情勢の変化に対応できるよう、人権感覚豊かな福祉の専門職の養成を図ることを目的に、人権の尊重を基本とした幅広い研修カリキュラムをもとに人権研修を行います。

対象

下記の研修受講者(令和3年度実施の研修／主に初任者クラス)

老人施設課程(基礎コース)、障がい児者施設課程(通所・入所コース)、児童施設課程(基礎コースⅠ)、児童施設課程(基礎コースⅡ)、成人施設課程(基礎コース)、教育・保育施設課程(初任者コース)の各受講者

※人権研修の受講は、必須となります。各研修(〇〇課程△△コース等)の出席状況等を踏まえて、レポートの提出確認をもって、当該研修課程の修了証書を発行いたします。

配信日時

令和3年11月1日(月)11:00～17日(水)15:00

の間に4つのテーマのうち、2つのテーマ(2枚目詳細あり)を選択し、動画視聴。

動画時間:1テーマ90分程度(予定)×2テーマ

レポート 締切日

令和3年11月24日(水)16:00(必着)

※レポートの提出がなければ修了証書の発行はできませんのでご注意ください。

会場

職場または自宅にて動画視聴

10月中旬までに、視聴用HPのログインID・パスワードをメールにて連絡します。

受講料

無料

(すでに各研修において受講料を
いただいているため)

申込

不要

※人権研修の受講を辞退される方は、
必ず事前にご連絡をください。

日程

受講の流れ

10月上旬

レポート様式と資料データ・視聴用HPのログインID
パスワードをメールにて連絡します。

11月1日(月)
11:00
～11月17日(水)
15:00

- ① 4つのテーマのうち2つを選択
- ② 選択した2つの研修資料をダウンロードし印刷
- ③ 選択した2つの動画を視聴
- ④ 選択視聴した2つのレポートを作成(1テーマ200字以上)
※すべてのテーマを視聴した場合も、レポートは2テーマのみ提出ください。

11月24日(水)
16:00必着

- ⑤ メールにてレポート提出(2テーマ作成)

12月中旬

レポート確認後、郵送にて修了証書を送付します。
※児童施設課程(基礎Ⅰ)のみ2月の最終日に発行

下記の4つのテーマから2つ選択し動画視聴【1テーマ約90分】

テーマ①

「子ども虐待防止のために」

辻 由起子 氏（大阪府認定子ども虐待防止アドバイザー）

子どもへの虐待を防止するためには、虐待を「取り締まる」のではなく、子育てに不安や困難を抱えた時に、誰かに打ち明けたり相談できる体制があることが重要です。なぜ虐待が起きてしまうのか、ご自身の体験や子育て支援の取り組みの中からその要因を探り、虐待防止のために必要な支援について学びます。

テーマ②

「多様な性のあり方 LGBT

～男女やLGBTだけじゃない！性のあり方は十人十色～

井上 鈴佳 氏（中学校・高等学校 元保健室の先生 LGBT当事者）

最近よく目にするLGBTという言葉。芸能人やテレビの中だけの話ではなく、とても身近なことです。男女やLGBTだけではない、多様な性のあり方について考えます。

テーマ③

「社会的ひきこもりに対する理解と支援」

小林 将元 氏（NPO法人 クラウドナイン 理事長）

「ニート」「社会的ひきこもり」など、社会生活を維持するのに困難な思いを抱える若者が増加し、地域社会の変革が求められています。社会的ひきこもりを解決するための支援活動から現状について理解し、誰もが安心して暮らせるための支援について学びます。

テーマ④

「自殺防止と人権の視点」

北條 達人 氏（認定NPO法人 国際ビフレンダーズ
大阪自殺防止センター 理事長）

コロナ禍により自殺者が増加しています。自殺の実態やうつ病に関する基礎的知識のほか、福祉施設の職員が自殺防止に向けてどのような役割が果たせるか、また何ができるのか、一緒に考え学んでいきます。

◆禁止事項◆

- ・専用ページID・パスワード・URLをメールにてを研修受講者以外の第三者に渡すこと。
- ・本研修の動画および資料を無断で編集、引用、抜粋すること。
- ・本研修の動画、資料を無断で複製すること。
- ・本研修の動画および資料を研修申込者以外に無断で提供、配布、販売すること。
- ・その他、本動画提供の趣旨に反すること。

